

平成24年度林業公社長期収支シミュレーションについて (条件変更3パターン)

単位:百万円

試算パターン	昭和41～平成88年の長期収支																		備考
	収入の部						支出の部								累積債務	A債務との差額			
	補助金	公庫借入金	県借入金	自己資金	木材販売	収入計	事業費	一般管理費			公庫借入金償還		県借入金償還				分収交付金	支出計	
								人件費	事務費	計	償還金	利息	元金	利息					
A. 平成24年度試算	21,856	14,435	36,255	7,470	58,134	138,150	63,392	6,108	2,218	8,326	14,435	12,196	32,177	7,250	6,954	144,730	△ 10,658	—	木材価格11512円/m3 賃金 13,200円
B. 木材価格10%増加	21,856	14,435	35,507	6,098	63,956	141,852	63,392	6,108	2,218	8,326	14,435	12,196	31,912	7,250	8,370	145,881	△ 7,624	3,034	木材価格12665円/m3 賃金13,200円
C. 木材価格10%減少	21,410	13,642	37,720	8,353	48,370	129,495	59,517	6,108	2,218	8,326	13,642	11,791	32,940	7,250	5,571	139,037	△ 14,322	△ 3,664	木材価格9578円/m3 賃金13,200円
D. 分収率見直し	21,856	14,435	36,471	8,111	58,134	139,007	63,392	6,108	2,218	8,326	14,435	12,196	32,289	7,250	8,228	146,116	△ 11,291	△ 633	木材価格11512円/m3 賃金13,200円

以下、試算条件の変更内容及び試算結果

B 木材価格を10%増加した試算結果

試算条件

(3)木材生産区分

○樹種別木材生産区分面積 単位:ha

契約面積	経営面積	除地	樹種	区分I	区分II	区分III	対象面積
17,805	14,774	783	スギ	866	1,008	344	2,218
			ヒノキ	1,837	2,344	1,501	5,682
			アカマツ	540	693	201	1,434
			カラマツ	2,231	1,371	632	4,234
			計				13,569

(6)木材価格等【平成24年度長期収支予測価格に10%増加】

区分/樹種	単位	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ
径12cm～	円/m3	8,800	10,900	4,300	10,700
径18cm～	円/m3	11,200	22,100	—	—
径24cm～	円/m3	13,300	23,000	10,500	14,100

試算結果

償還に充てる木材収入が約40億円不足し、県償還金の残36億円と合わせ、約76億円の債務が残ることとなった。  
木材価格が10%増加することで、平成24年度の長期収支予測の債務残額が107億円から、31億円が軽減される。

C 木材価格を10%減少した試算結果

試算条件

(3)木材生産区分

○樹種別木材生産区分面積 単位:ha

契約面積	経営面積	除地	樹種	区分I	区分II	区分III	対象面積
17,805	14,774	783	スギ	866	1,008	0	1,874
			ヒノキ	1,837	2,344	1,501	5,682
			アカマツ	540	693	0	1,233
			カラマツ	2,231	1,371	0	3,602
			計				12,391

※ 木材価格の減少により、区分IIIのスギ、アカマツ、カラマツ契約地は赤字収支となることから、対象面積1,178haを除く

(6)木材価格等【平成24年度長期収支予測価格10%減少】

区分/樹種	単位	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ
径12cm～	円/m3	7,200	8,900	3,500	8,700
径18cm～	円/m3	9,200	18,100	—	—
径24cm～	円/m3	10,900	18,800	8,600	11,500

試算結果

償還に充てる木材収入が約95億円不足し、県償還金の残48億円と合わせ、約143億円の債務が残ることとなった。  
木材価格が10%ダウンすることで、平成24年度の長期収支予測の債務残額が107億円から、36億円増加する。

D 個人有林と共有の分収率を現行とした試算結果

試算条件

(3)木材生産区分

○樹種別木材生産区分面積 単位:ha

契約面積	経営面積	除地	樹種	区分I	区分II	区分III	対象面積
17,805	14,774	783	スギ	498	728	52	1,278
			ヒノキ	850	928	393	2,171
			アカマツ	506	603	146	1,255
			カラマツ	2,134	1,288	532	3,954
			計				8,658

※ 個人有林・共有林は現行の分収率の対象で試算。面積4,911ha

試算結果

償還に充てる木材収入が約71億円不足し、県償還金の残42億円と合わせ、約113億円の債務が残ることとなった。  
分収率の見直しが進まない状況を仮定し、個人有林・共有林の分収率を現行のまま試算した場合、平成24年度の長期収支予測の債務残額が107億円から、6億円増加する。